

# 都市開発について

## まこと新聞

発行者 高島まこと  
後援会 直大 明石 龜山 寺町  
205 85-1744

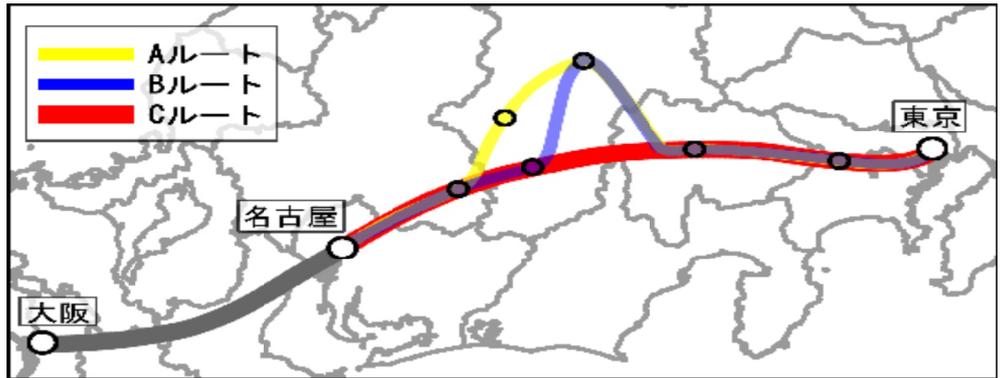


全国各地で水害のニュースが飛び込んで来ますが、後援会の皆様如何お過ごしですか？ 今回のまこと新聞第3号は、龜山市の都市開発のお話を

少しさせて頂きます。現在、龜山市では、約二十年後のリニアモーターカー駅誘致として約二〇億円もの税金がストックされています。一県に一駅の誘致として国に、龜山市が候補として挙げました。桑名、四日市ですと名古屋に近く、すぐ止まらなくてはいけませんので駅誘致の意味が無いと思います。

## リニアモーター

また、津や松阪ですと、大阪方面へのルートから少し逸れてしまう恐れが有ります。その点 龜山市は、ルート上で最も近くまた、自動車的高速道路や、鉄道のJRも、いずれも名古屋、関西、紀州方面へのアクセス



所も有ります。現在でも ある地域で地区の出合い仕事があり、過疎化が進んでいる中、集まるのは、殆どが七十歳以上です。その地区の方は、ガードレールの無いコンクリート道路の補修や、草刈りをしてその地域を守っている

考えます。同時に龜山市は、歴史的な観光資源が豊富に有ります。関の町並み、地藏院、東海道、能褒野神社、一里塚等沢山あります。此の不況だからこそ産業、文化、観光に活きた税金を今からもつともつと投入するべきだと

ポイント拠点となり立地条件としては、申し分有りません。リニアモーター新龜山駅が誕生しますと、駅周辺は、発展し、商業施設のビルや、ホテルが建ち並び人が集まり賑わい、活気溢れ 市の財政も潤う事でしょう。しかし、明るい未来の都市計画も大事ですが、明日の龜山も考えなくてはなりません。中心部も大事ですが、龜山市の周りの地区から開発していかなければ意味が有りません。ドーナツ方式で都市開発を進めて行くのが理想の形だと考えています。基本的には周りから中心へ・・・此が反対になつてしまうと周りは、発達する訳が有りません。

井田川駅は駅舎もない・・・そんな馬鹿げた話は有りません。未来都市計画も大切ですが、現状を直視して明日の龜山も考えて行かなければ成りません。その為には、現在ストックしていても、税金を取り崩してでも周りから都市開発を進めていくべきだと考えます。そうすれば、魅力有る未来都市になり、人が集まり産業が発達し市全体が潤って行くのではないのでしょうか。

# やはり議員定数削減を！

先日、新聞に興味深い記事が載ってました。桑名市の市議選についてです。亀山市の約半月後の十一月七日の告示ですが、記事の内容が私の主張する市議会議員削減になっているではありませんか・今現在、桑名市市議会は、定数三十四名です(内一人欠員)それを定数の約八分の一減らして三十人にするそうです。何が凄いかと言いますと桑名市の選挙人名簿登録者には、(六月二十二日現在)男性・五万四千四百一十一人女性・五万七千九十五人です。合計十一万一千六百六人 定数三十人で割ると三千七百二十人に付き議員一人と云う数字になります。一議員が約三千七百人分の仕事をする事に単純に考えると出来る計算です。この条例に賛成した桑名市市議会は、自己保身に走らずよくぞ御英断してくれたものです。確かに仕事等は、大変増える事と思いますが、頑張ってください。

# 桑名市は、亀山市の半数！

一さて私の住む亀山市ですが、有権者数が約三万八千四百七十八人です。では、何人分の仕事をするのでしょうか・・・なんと、桑名市の約半分の千七百七十二人に付き議員一人です。此は此は約二倍の格差が有るなんて大変びっくりしました。あくまでも有権者のみであり未成年者を含めた人口比率で考慮しますと非常に恐ろしい数字になります。それでは、仕事が半分になるのかなって疑問をお持ちになる方がいらつしやると思いますので 誤解が無い様にいたしますが仕事量は、同じ位です。又、地域の事情ってものがありますので一概にこの結果が全てだとは、言いませんが、今一度の再考が此の亀山市にも必要だと思えます。

今この市議会の先生方は、とても素晴らしく、考えが柔軟の方ばかりだとお伺いするので、大丈夫かと思えますが、此の議員削減案を是非とも推進して頂きたいものです。次にお隣の伊賀市ですが、七月一七日(土)伊勢新聞に掲載されていました、正副議長経験者でつくる「議会改革推進委員会」が実施したアンケート結果を発表しました。対象は現職市議二十八人にです。桑名市議と同じ定数削減派が、多数を占めていることが判りました。議員二十八人中 何と二十四人が定数削減、四人が現状維持を訴えていることが記載されていきました。私も思うのですが、いち早く市民の皆様の声を代弁し、まず行動に移す姿は、素晴らしい事だと思えます。周辺市町村の動きもいち早く察して中勢地区との連携も視野に入れて亀山市は、周りのモデルになつて頂きたいものです。まこと新聞一号にも記述させて頂きましたが、私は、定数削減、七十歳定年制導入を小さい声ながら訴えて行きたいと思えます。